

日本中央アジア学会 2015 年度年次大会プログラム

■概要

日程：2016 年 3 月 26 日（土）～3 月 28 日（月）

場所：藤沢市片瀬海岸 1-7-23

会場・宿舎：KKR 江の島ニュー向洋

■プログラム

3 月 26 日（土）

KKR 江の島ニュー向洋に集合

登録・レセプション

3 月 27 日（日）

【午前の部】

大倉忠人（キヤノン株式会社）

「末子相続の経済的利点——キルギス民族の末子相続の事例を踏まえて——」

藤本透子（国立民族学博物館）

「国立民族学博物館の中央アジア展示リニューアル
——現地社会との関わりを中心に——」

河原弥生（イスラーム地域研究東京大学拠点）

「19～20世紀前半における右岸バダフシヤンのイスマール派信徒たち
——アーガー・ハーンとの交渉を中心に——」

ヌルマンベトヴァ・アクベルメット（筑波大学大学院）

「キルギスにおける JICA ボランティア事業の成果と課題」

【午後の部：公開パネルセッション】

パネル・タイトル：現代中央アジアへの域外からの関与——影響と課題——」

<モデレーター、趣旨説明、司会>

湯浅剛（広島市立大学）

<報告>

三船恵美（駒澤大学）

「中国からのアプローチ——中国の『一帯一路』構想における中央アジア——」

井上あえか（就実大学）

「パキスタン政治の変化と域内国際関係」

齋藤竜太（筑波大学大学院／ウズベキスタン科学アカデミー歴史学研究所）

「ウズベキスタンの水資源管理への援助活動」

<討論者>

清水学（ユーラシア・コンサルタント）

稲垣文昭（慶應義塾大学）

※ NIHU プログラム・イスラーム地域研究東京大学拠点の共催

日本中央アジア学会総会

3月28日(月)

【午前の部】

中村朋美(京都大学大学院博士後期課程認定退学)

「19世紀前半のロシアが目指した新疆貿易
——シベリア発、「インドへの道」の再燃——」

川本正知(奈良学園大学)、和崎聖日(中部大学)、河原弥生(イスラーム地域研究東京拠点)

「フェルガナ盆地のムジャッディディーヤ
——ムジャッディディーヤ科研ウズベキスタン調査報告——」

「ムジャッディディーヤ科研とウズベキスタン調査(2014年9月及び2015年9月)」(川本)

「現代ウズベキスタンのスーフィズムとスーフィー教団——ナクシュバンディー教団、ヤサヴィー教団、カーディリー教団——」(和崎)

「ムジャッディディーヤのフェルガナ盆地への伝搬」(河原)

「ナジュズーブ・ナマンガーニーとその教団」(川本)

「ハジーニー研究事始め——カッタ・ケナゲス村をたずねて——」(和崎)

※発表者の所属はいずれも発表時のものです。